

2018年度 第2四半期 決算補足資料

2018年11月14日



2018年度 第2四半期決算のポイント

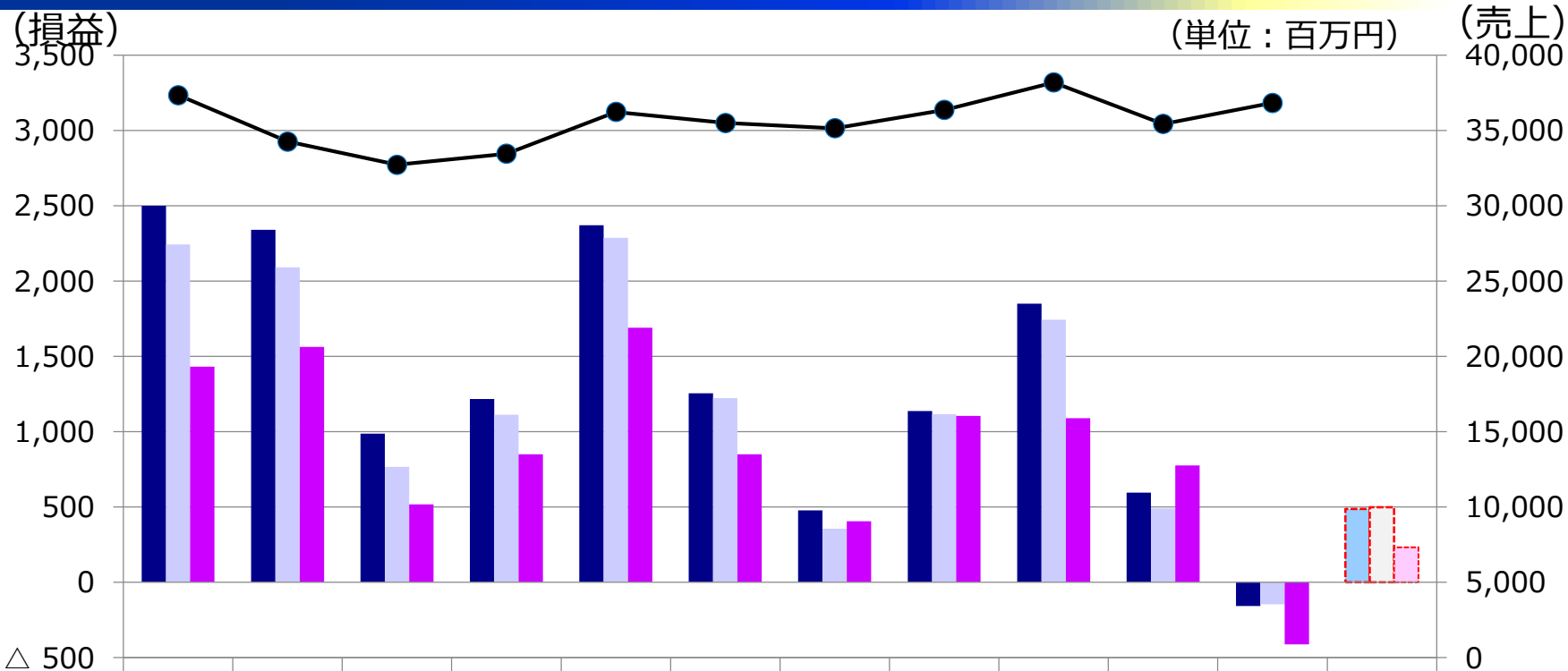
(単位：百万円)

	2017年度 第2四半期		2018年度 第2四半期		増減	
	金額	対前年	金額	対前年	金額	対前年
売上高	70,631	100.0%	72,250	100.0%	1,619	2.3%
営業利益	1,732	2.5%	438	0.6%	△1,293	△74.7%
経常利益	1,578	2.2%	343	0.5%	△1,234	△78.2%
当期純利益	1,255	1.8%	363	0.5%	△892	△71.1%
EPS (円)	48.56		14.02			

《全体感》

- 売上：アジアを中心とした受注量の増加等により増収
- 営業利益：燃料価格の上昇、米国の収益改善の遅れ、減価償却費の増加等により減益
- 経常利益：営業利益の減少により減益
- 当期純利益：経常利益の減少により減益も、有価証券売却益等により減益幅圧縮
- EPS：当期純利益の減少により、34.54円/株減少

連結決算概要（四半期推移）



△ 500

	15年度 4Q	16年度 1Q	16年度 2Q	16年度 3Q	16年度 4Q	17年度 1Q	17年度 2Q	17年度 3Q	17年度 4Q	18年度 1Q	18年度 2Q	18年度 2Q (参考)
■ 営業損益	2,500	2,340	986	1,216	2,370	1,255	477	1,136	1,850	596	△ 158	487
■ 経常損益	2,242	2,090	767	1,113	2,286	1,222	356	1,115	1,743	490	△ 147	498
■ 当期純損益	1,431	1,562	518	850	1,690	850	405	1,105	1,090	776	△ 413	232
● 売上高	37,332	34,258	32,718	33,453	36,228	35,494	35,136	36,359	38,178	35,429	36,821	

一時的な減価償却費増加分を差し引いた2Q利益

ダイカスト事業

(単位：百万円)

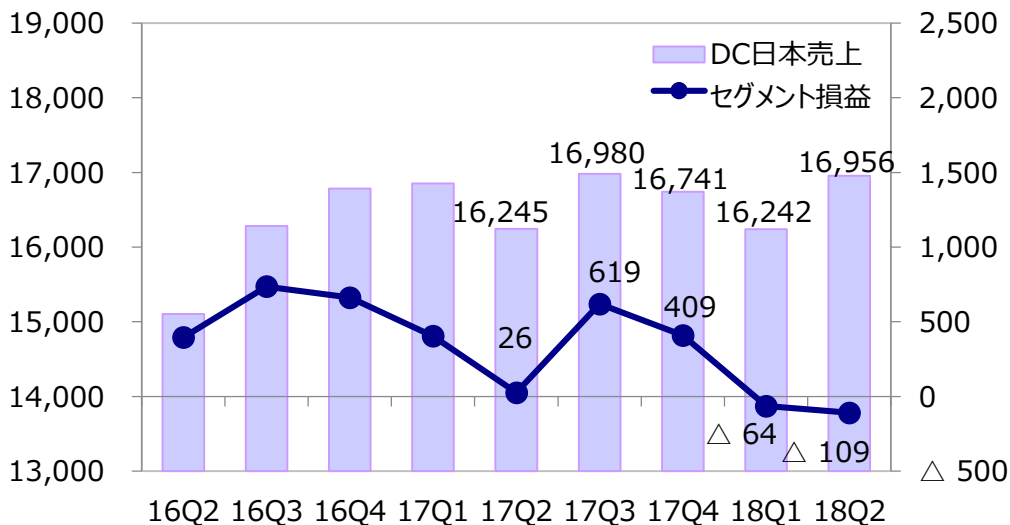
		2017年年度 第2四半期		2018年度 第2四半期		増減	
日本	売上高	33,097	100.0%	33,198	100.0%	101	0.3%
	セグメント損益	430	1.3%	△173	△0.5%	△603	△140.2%
北米	売上高	20,470	100.0%	20,514	100.0%	44	0.2%
	セグメント損益	214	1.0%	△198	△1.0%	△412	△192.5%
アジア	売上高	13,920	100.0%	15,143	100.0%	1,223	8.8%
	セグメント損益	828	5.9%	748	4.9%	△80	△9.6%

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2017年度2Q：50.9% ⇒ 2018年度2Q：51.8%

※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



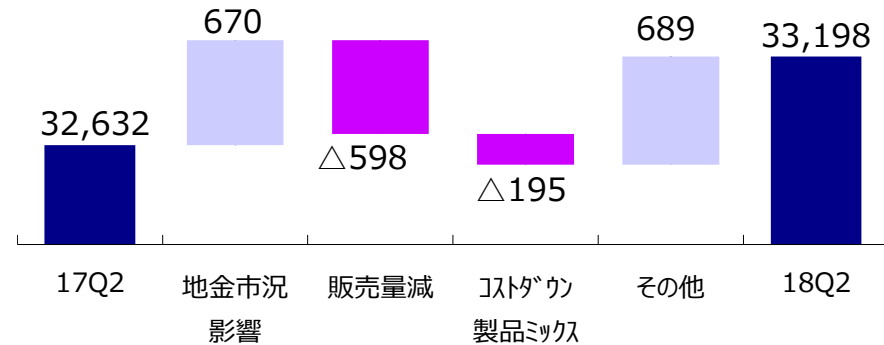
売上：1.0億円増（前期比0.3%増）

- 販売量は主要顧客の北米向け製品の一部分が減少
- 売上高はアルミ地金市況の上昇等により増加

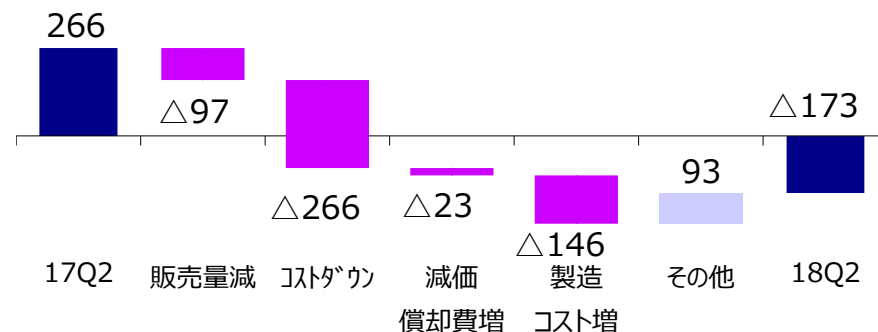
セグメント損益：6.0億円減（前期比140.2%減）

- 販売量の減少、コストダウンの影響により減益
- 燃料費等の増加も収益を圧迫

※売上高増減要因（単位：百万円）



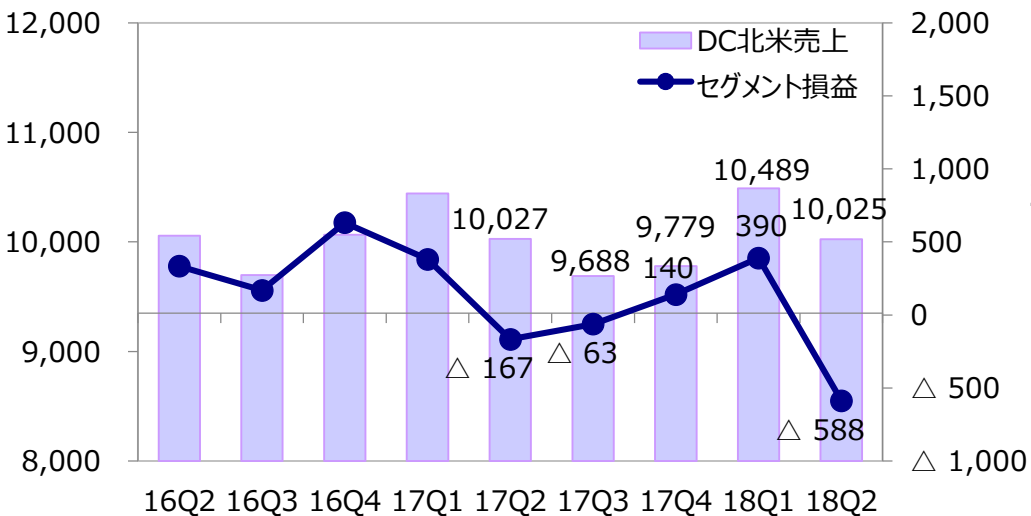
※セグメント損益増減要因（単位：百万円）



※17Q2の売上高・セグメント損益増減は決算期変更の影響額を除く

ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移 (単位：百万円)



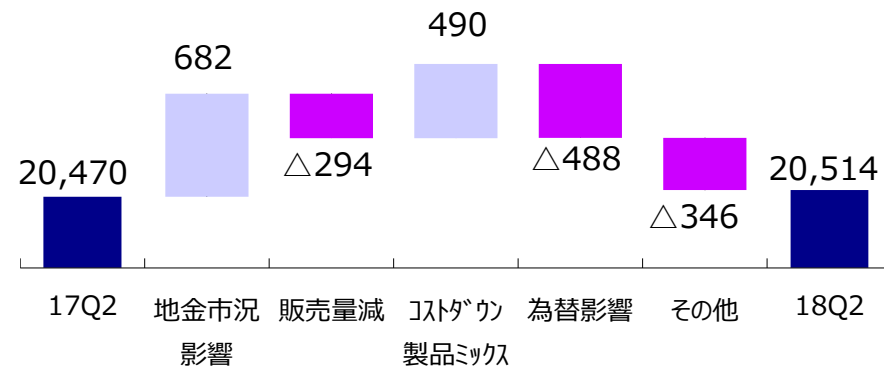
売上：0.4億円増（前期比0.2%増）

- 米国は一部製品生産終了の影響等により受注減
- メキシコは新規部品の量産本格化により受注量増加

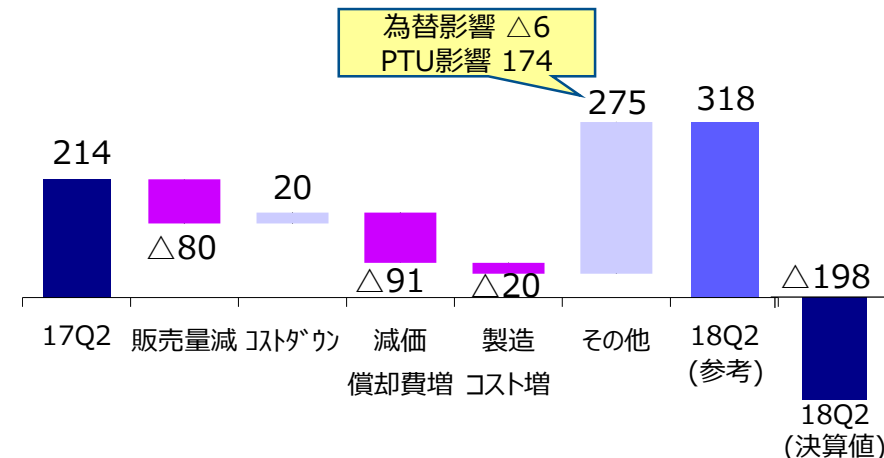
セグメント損益：4.1億円減（前期比192.5%減）

- 米国は売上減となるなかで生産性改善途上
- 一時的な減価償却費の増加等により減益

売上高増減要因 (単位：百万円)



セグメント損益増減要因 (単位：百万円)

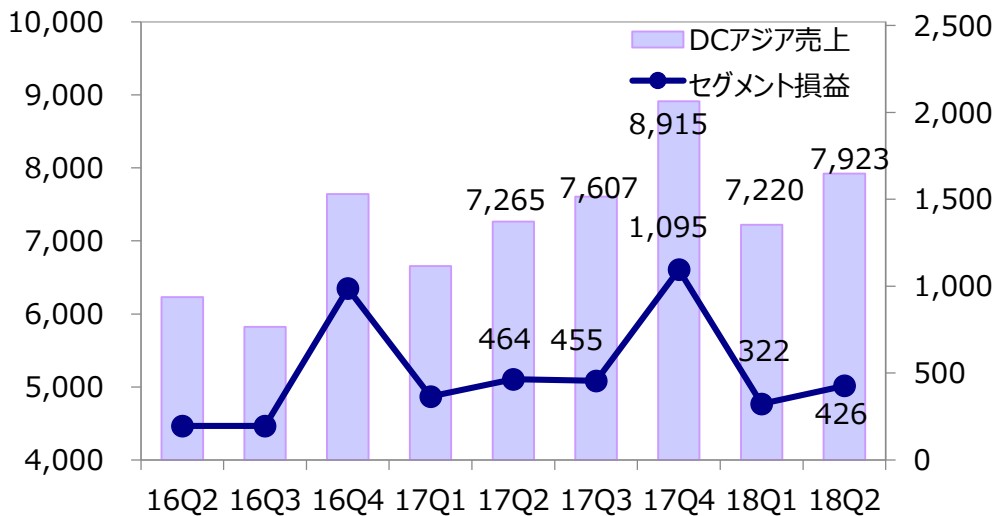


※参考は一時的な減価償却費の増加分を除いたセグメント損益

決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期
 レート（17Q2⇒18Q2）アメリカ 111.42⇒110.07 メキシコ 112.75⇒109.17

ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高/セグメント損益の推移 (単位: 百万円)



売上: 12.2億円増 (前期比8.8%増)

- ▶ 中国は主要顧客のSUV等の売上好調により増収
- ▶ インドも自動車市場の拡大により受注増加

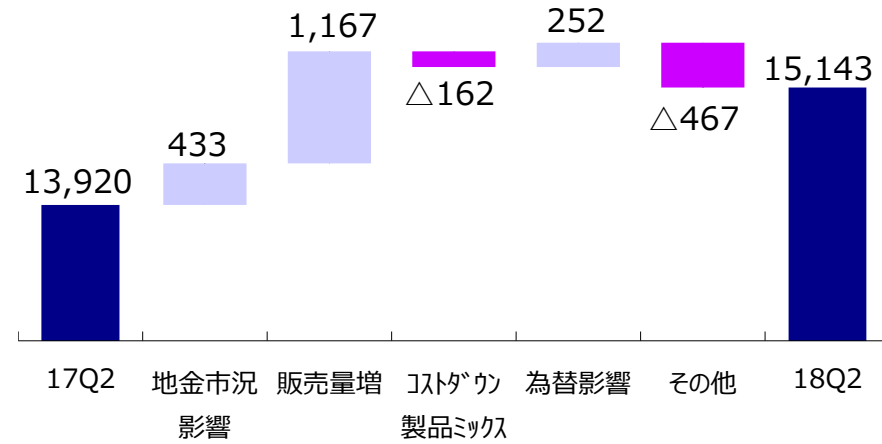
セグメント損益: 0.8億円減 (前期比9.6%減)

- ▶ 中国のコストダウン影響及び一時的な減価償却費の増加等により減益

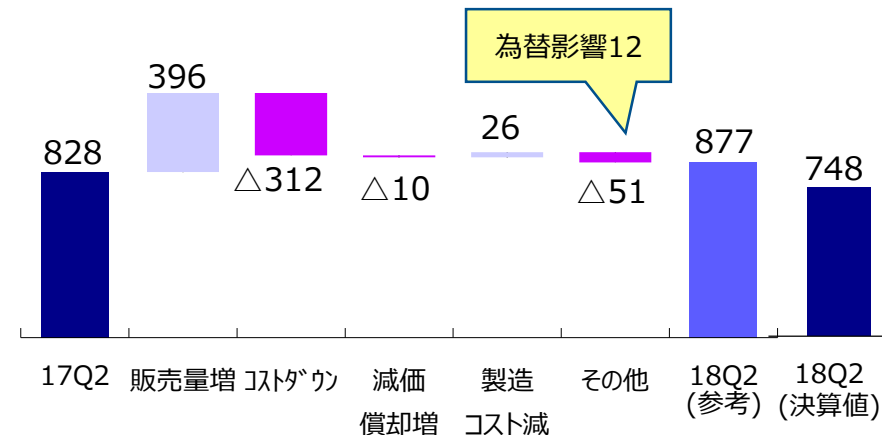
決算期: 中国12月期、インド3月期

レート (17Q2⇒18Q2) 人民元 16.42⇒17.05 インドルピー 1.73⇒1.61

売上高増減要因 (単位: 百万円)



セグメント損益増減要因 (単位: 百万円)



※参考は一時的な減価償却費の増加分を除いたセグメント損益

アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2017年度 第2四半期		2018年度 第2四半期		増減	
アルミニウム 事業	売上高	2,182	100.0%	2,290	100.0%	108	4.9%
	セグメント損益	115	5.3%	43	1.9%	△72	△62.4%
完成品事業	売上高	961	100.0%	1,104	100.0%	143	14.9%
	セグメント損益	143	14.9%	70	6.3%	△73	△51.1%

アルミニウム事業

- ▶ 売上：アルミ地金市況変動の影響を受け増収（前期比4.9%増）
- ▶ セグメント損益：原材料の価格上昇等により減益（前期比62.4%減）

完成品事業

- ▶ 売上：クリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が増加（前期比14.9%増）
- ▶ セグメント損益：受注競争等により前期比減（前期比51.1%減）



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664
E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com
URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。